

## WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島 実施概要

開催日時	2026年5月30日（土）～31日（日）	主催	一般社団法人日本ウッドデザイン協会 （林野庁 R7年度花粉症対策木材の利用拡大に向けた機運の醸成事業）
開催場所	THE OUTLETS HIROSHIMA（ジ アウトレット広島） （広島市佐伯区の大型商業施設内）	集客数	1,760人
展示内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ウッドデザイン賞の受賞作品をはじめ、広島県産材を活用した雑貨・インテリアを多数展示。</li> <li>• 清々しい香りを楽しめるほか、素足で柔らかさや温もりを体感できる、スギの魅力を五感で感じるゾーンも設置。</li> <li>• 展示した木製雑貨や日用品については、その場での販売にも対応。</li> </ul>		
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スギ、ヒノキをはじめとする国産材に触れ、その魅力を感じながらのものづくり体験できる機会を、幅広い層の来場者に提供。 （企画協力・運営：一場木工所、木育普及委員会〔広島県〕）</li> <li>①アロマスプレー制作、②かなりボンコサーージュづくり、③箸づくり、④おむすびキーホルダーづくり、⑤成り立ちBOX、⑥スギ目アートコースター（①～⑤は有料プログラムとして実施）</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 木育あそび場に設置した「木のボールプール」「木の食材」は主に幼児の利用が多く、「組み立てアートブロック」については幼児から小学校低学年までの子どもたちに広く利用され、終日賑わいを見せた。</li> </ul>		



ウッドデザイン賞受賞作品の展示ゾーン。組み立て式の展示什器は地元製



ワークショップ会場の様子。奥に隣接する木育あそび場ゾーンは終日盛況

# WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島 参加メニュー

日程	参加メニュー	10	11	12	13	14	15	16	17	18
5/30 (土曜)	WD賞作品展示				11:00-18:00					
	物販				11:00-18:00					
	カフェ				11:00-16:00					
	ワークショップ		毎回20分 全12回							
	A1)アロマスプレー		毎回70分 全4回							
	B)箸づくり		毎回30分 全8回							
	C1)おむすびキーホルダー		毎回15~20分 随時受付 全11回							
	D)スギ木目アート									
木育あそび場				11:00-18:00						
アートブロック				11:00-18:00						
5/31 (日曜)	WD賞作品展示				11:00-18:00					
	物販				11:00-17:00					
	カフェ				11:00-16:00					
	ワークショップ		毎回40分 全5回							
	A2)かんなコサージュ		毎回70分 全3回							
	B)箸づくり		毎回30分 全3回							
	C1)おむすびキーホルダー				毎回60分 全2回					
	C2)木育BOX		毎回15~20分 随時受付 全10回							
D)スギ木目アート										
木育あそび場				11:00-17:00						
アートブロック				11:00-17:00						



パネル展示



ウッドデザイン賞作品展示



ネズミサシCafé



組み立てアートブロック



木のボールプール



木の食材



アロマスプレー制作



箸づくり



おむすびキーホルダーづくり



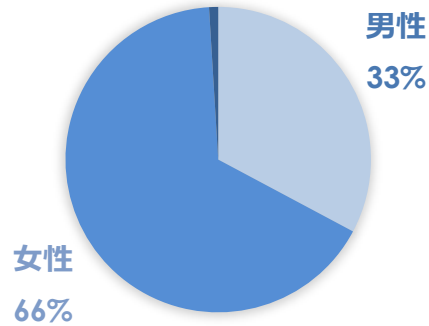
スギ目アートコースター

# WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島 アンケート結果

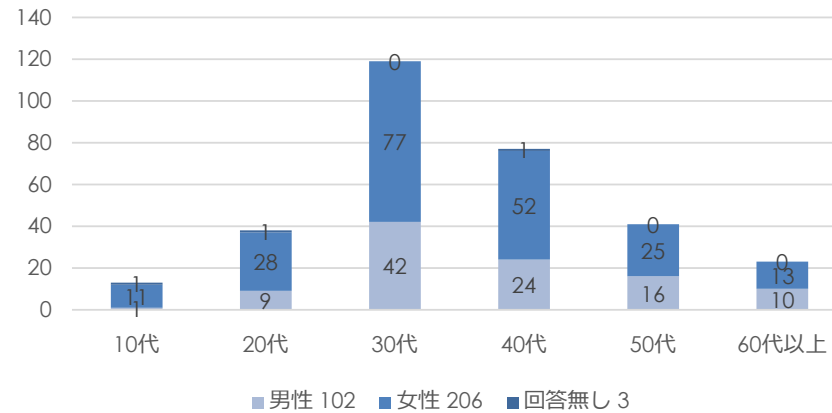
## 回答者の属性

回答数 311名（男性102名 女性206名 回答無し3名）

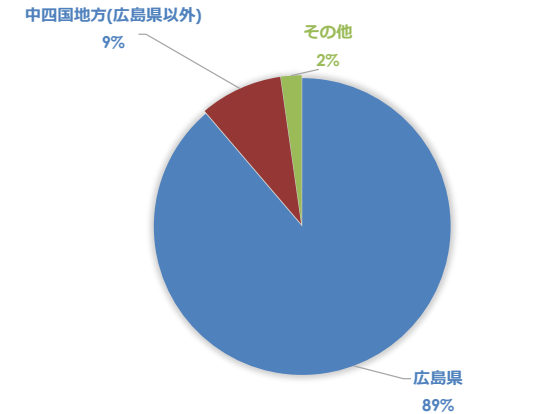
### 男女構成



### 男女構成年齢別構成

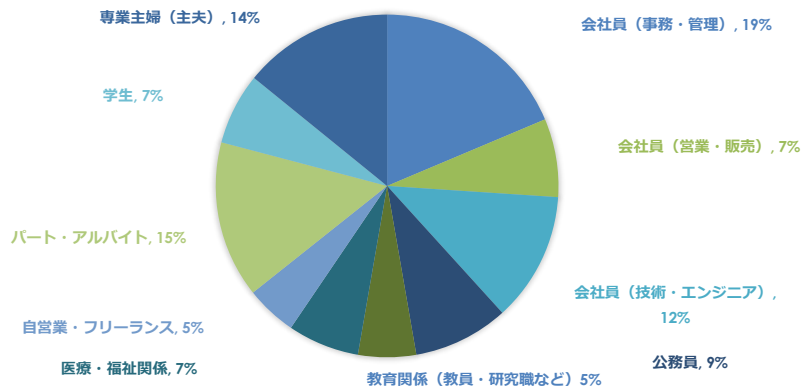


### 居住地



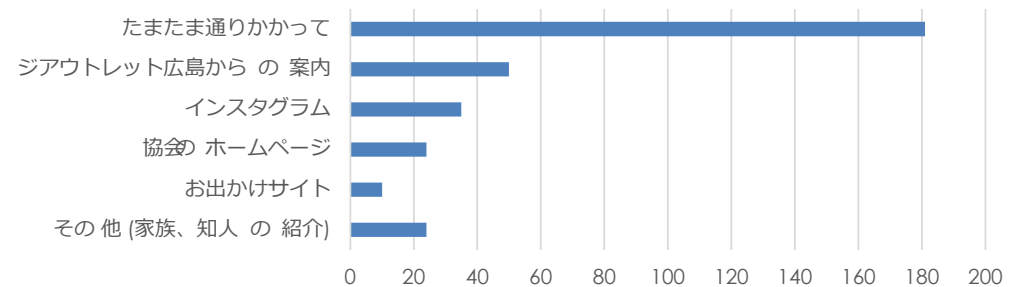
回答者の約3分の2が女性で、年代別では30～40代が中心となったが、この構成はイベント来場者の属性を反映させたものといえる。来場者の居住地は広島県内が約9割を占めたものの、広島県外からも中四国地方を中心に来場があり、広域的な集客が図られたことがうかがえる。

### 職業



来場者の中心層は30代以上の子育て世代であり、職業別では会社員、公務員、医療・福祉関係、教育関係などの就業者が多くを占めた。パート・アルバイトを含めると、就業者は全体の約8割に達している。

### 本イベントに来たきっかけ(複数選択可)

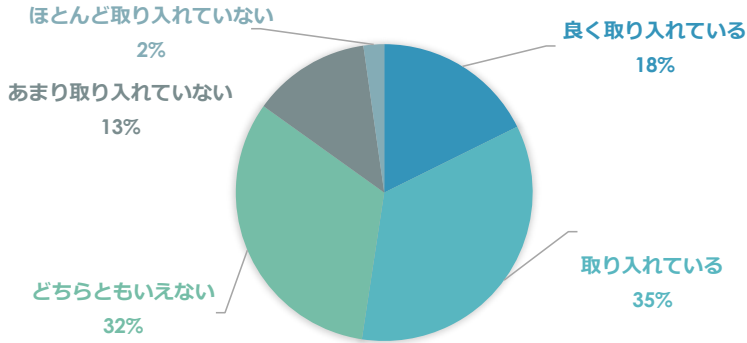


来場のきっかけは、「たまたま通りかかって」が58%と過半数を占め、次いで「ジアウトレット広島からの案内」が16%となった。このことから、多くの来館者を有する商業施設での開催が、今後の木材利用における普及啓発活動において、新たな接点を創出する有効な手段であることがうかがえる。また、Instagram及びホームページを来場のきっかけとした人も合わせて約2割占めており、情報発信媒体として一定の効果を確認した。

# WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島 アンケート結果②

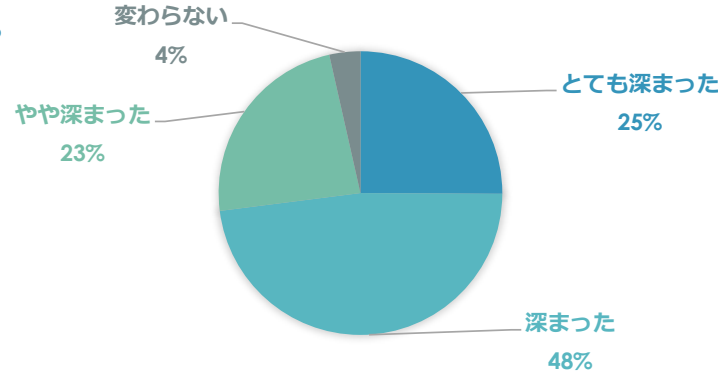
## 木の利用・活用状況

① 普段から暮らしの中で木材製品を使用していますか？



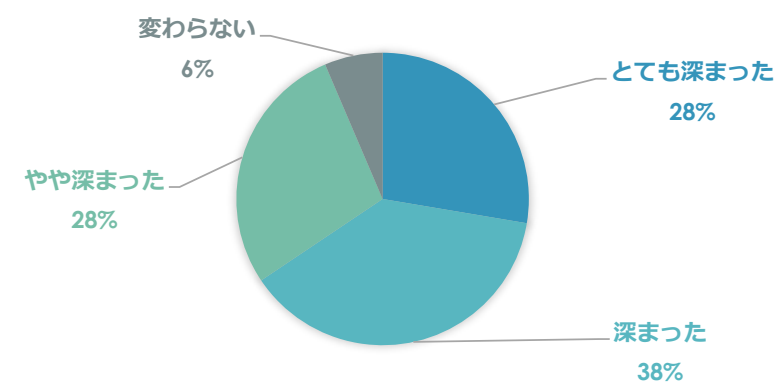
日常的な木材製品の使用状況については、回答者の約2割が「よく取り入れている」と回答し、「取り入れている」を含めると過半数に達した。このことから、木材製品は一定程度生活の中に浸透していることがうかがえる。

② イベントに参加して国産木材の利用の意義について理解が深まりましたか？

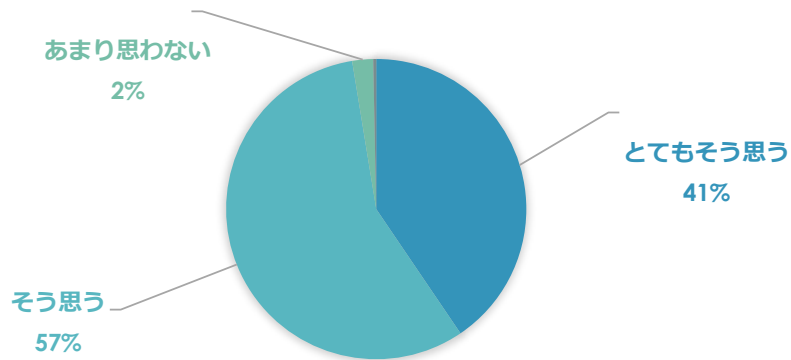


国産木材の利用意義については、「とても理解が深まった」が25%、「理解が深まった」を含めると約4分の3に達した。また、スギ・ヒノキ材の利用が花粉症対策につながることも、「とても理解が深まった」が28%、「理解が深まった」を含めると約3分の2に達した。以上の結果から、本イベントは木材利用の意義や効果に関する理解醸成に一定の成果を上げたものと考えられる。

③ スギ・ヒノキの材を利用することが、花粉症対策になることについて理解が深まりましたか？

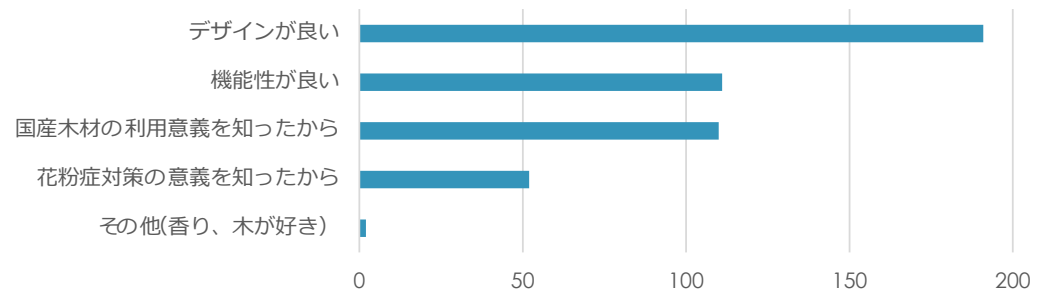


④ 木材を生活の中でより取り入れてみようと思いませんか？



木材を生活の中により積極的に取り入れたいと思うかについては、「とてもそう思う」が41%を占め、「そう思う」を含めると98%に達したことから、木材利用に関する理解の深化だけでなく、実際の行動意欲の向上にもつながったものと考えられる。

④の質問で、そう思った動機はなんですか。(複数選択可)

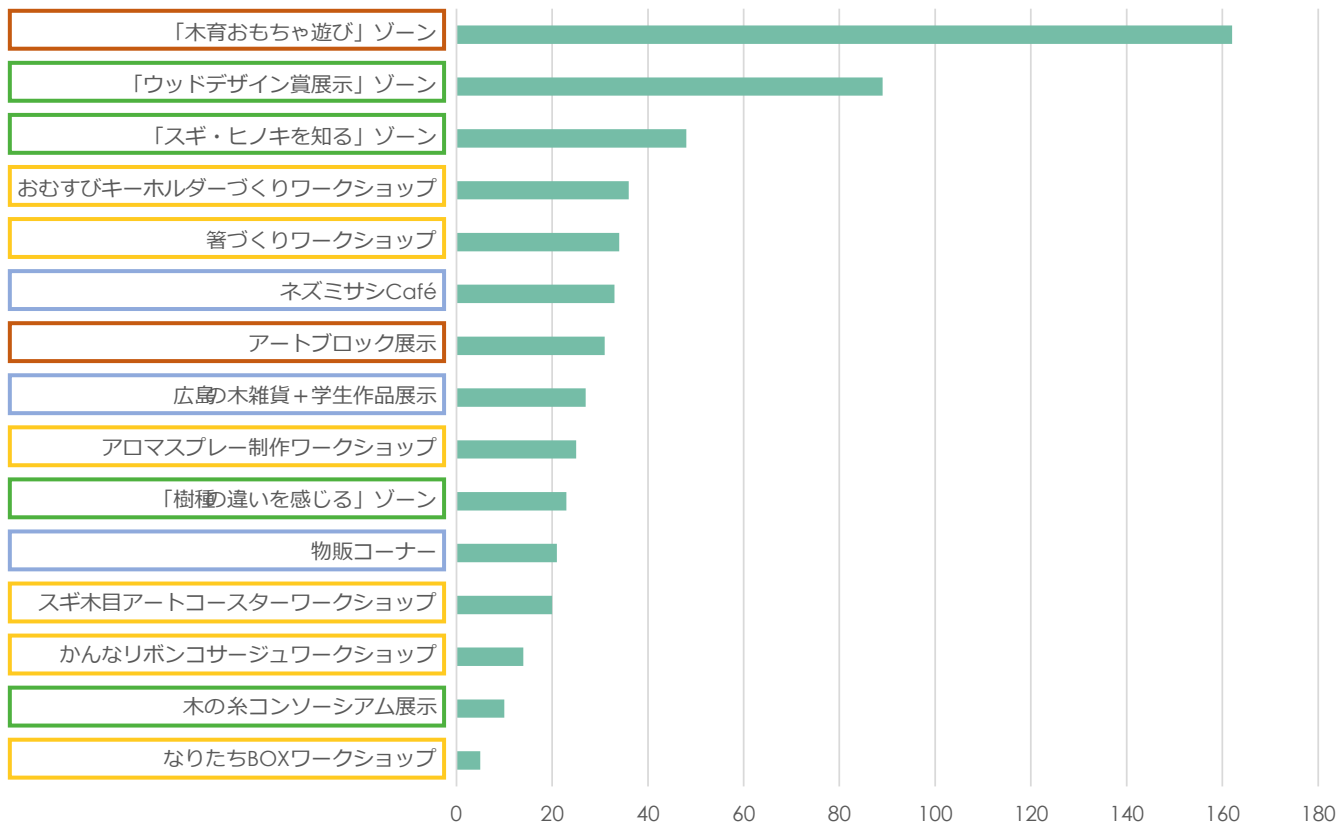


木材を生活の中により積極的に取り入れたいと思った理由としては、「デザインが良い」が最も多く、回答者の約6割がこれを選択した。次いで、「機能性が良い」と「国産木材の利用意義を知ったから」がともに35%となった。一方、「花粉症対策につながることを知ったから」との回答は17%にとどまっており、今後は木材利用と花粉症対策との関係について、さらなる周知・啓発を図る必要があると考えられる。

## WOOD DESIGN EXPERIENCE@広島 アンケート結果③

### イベント内容

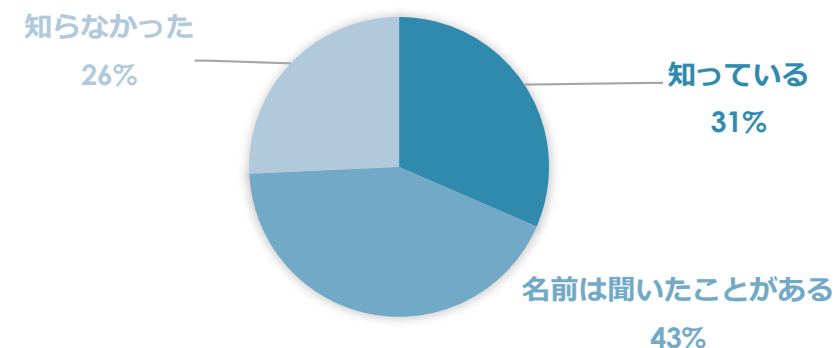
#### 興味深かった内容



「木育おもちゃ遊び」ゾーンの人气が圧倒的で、回答者の過半数が興味を持ったコンテンツとして挙げた。次いで、「ウッドデザイン賞展示」ゾーンが約3割の回答者から支持を集めた。また、今回のイベントでは多数のワークショップを実施したが、各プログラムとも参加人数に上限がある中で、「おむすびキーホルダーづくり」や「箸づくり」が特に高い人気を集めた。さらに、初の試みとして実施した「ネズミサシCafé」や「アートブロック展示」についても一定の関心が寄せられ、木材利用やウッドデザインに関する認知度向上に寄与したものと考えられる。一方で、来場者の関心を十分に集めるには至らなかった展示も見受けられた。提供内容の充実度や展示内容の分かりやすさに課題があるものもあり、今後の企画・展示手法の改善に向けた検討課題として残った。

### ウッドデザイン賞

#### ウッドデザイン賞を知っていますか？



ウッドデザイン賞の認知度については、回答者の約3割が「知っている」と回答し、「名前を聞いたことがある」を含めると約4分の3に達した。一方で、内容まで十分に理解している層は限定的であると考えられることから、今後も認知拡大と理解促進に向けた情報発信を継続する必要がある。